

C-58 婦人服の体温調節に関する研究 —衣服内湿度について—

奈良女大家政 ○前川美智子 水梨サツ子 奈良教育大 中谷 和

目的 私達は、婦人服装の体温調節作用を知るために、安静時・歩行時における被服型の異なる場合について主としてクロ値に関する実験をおこなってきた。しかし、体温調節には蒸発による放熱も重要な因子であるので、これと結びつけて考慮するため衣服内湿度を極論することにした。

方法 成人女子2名について各季節の任意服を着用し、椅坐安静時における衣服内湿度を、自記記録式鏡感湿度<sup>計</sup>にて、21℃・26℃の2環境条件において測定した。

- 結果 (1)従来の衣服気候の好適域としての衣服内湿度50±10%RHよりも今回の実験結果はや、下廻り、40±10%RHであった。
- (2)衣服最内層湿度→中間層湿度→衣服表面湿度→環境湿度の順に湿度勾配は高くなる。
- (3)今回の実験において、被験者及び衣服による相違はほとんどみられなかった。

今後さらに検討をせね、 $im$  (Permeability Index) に結びつけたかと思つてゐる。

以上